

よこぜ議会ナビは
横瀬町議会が皆さんに
年4回お届けする議会発行の
広報紙。議会審議の経過や議員の
活動を解説とともにわかりやすく
お伝えしていきます。



法務省を見学しました

えがおナビ「彼岸花まつりの後はおいしいかき氷♪」ENgAWAにて



議会のことを
コンパクトにお知らせ



議会ホームページも
あわせてご覧ください

横瀬町議会

検索

よこぜ

No.144

「横瀬そばの会・花咲山醸造所の皆様」
ちちぶ & よこぜ車両基地フェスタ 2024

議会ナビ

議会ナビ「おいしい給食 栄養満点！」



2024年秋号（令和6年9月定例会）

P.2 町のお金の使い方をチェック
令和5年度 決算を認定

P.5 委員会から報告します

P.6 6名の議員が登壇
町の考えを問う〔一般質問〕

P.8 町民インタビュー

令和5年度 決算を認定

9月定例会
(9/10~9/11)



町のお金の 使い方をチェック



決算の詳細は「広報よこぜ
令和6年10月号」もご覧
ください

令和5年度 一般会計

入ったお金 (歳入)		
自主財源 40.5%	町 税	11億6792万6639円
	繰越金	2億6648万7157円
	繰入金	1億7144万2528円
	諸収入	9510万4230円
	その他	9016万5524円
依存財源 59.5%	地方交付税	14億7041万9000円
	国庫支出金	4億2386万7224円
	町 債	2億6060万7000円
	県支出金	2億2376万4131円
	その他	2億5747万166円
合計	44億2725万3599円	

使ったお金 (歳出)	
民生費	11億5245万5240円
総務費	8億6675万986円
土木費	5億1526万5534円
教育費	4億9352万3464円
衛生費	3億9536万1252円
公債費	3億3802万9094円
消防費	2億132万6087円
商工費	1億2197万7140円
農林水産業費	9784万7085円
議会費	5864万6815円
合計	42億4118万2697円

令和5年度 決算に関して議員はココを聞きました (抜粋)



地域公共交通

問 のりあいブコーさん号は、3か所乗降場所を増やしたが、その効果は。

答 令和5年2月から秩父市内の乗降場所を3か所から6か所に増設し、利用者が増えた。今後、さらに利便性を向上できるように検討していく。

問 地域乗り合いバスの赤字補填について、県への補填増額の働きかけは行ったのか。

答 県への働きかけは行っているが、厳しい状況。今後もし引き続き県へ働きかけていくとともに、ちちぶ定住自立圏において共生ビジョンの中でも議題に上げていきたい。

空き家対策

問 空き家除却補助金が増えているが、何件行ったのか

答 14件の申請があった。

国際交流

問 まち経営課管轄の国際交流推進事業の項目がなくなっているが、どうしてか。

答 当該事業にマッチしたよこぜ提案があり、そちらに切り替えたため。

公会堂整備事業

問 公会堂等整備事業補助金が予算に対してかなり増額となっている。これは地域の要望に迅速かつ柔軟に応えた結果であり、今後そのような対応ができるか。

答 できる限りそのように柔軟に対応していく。

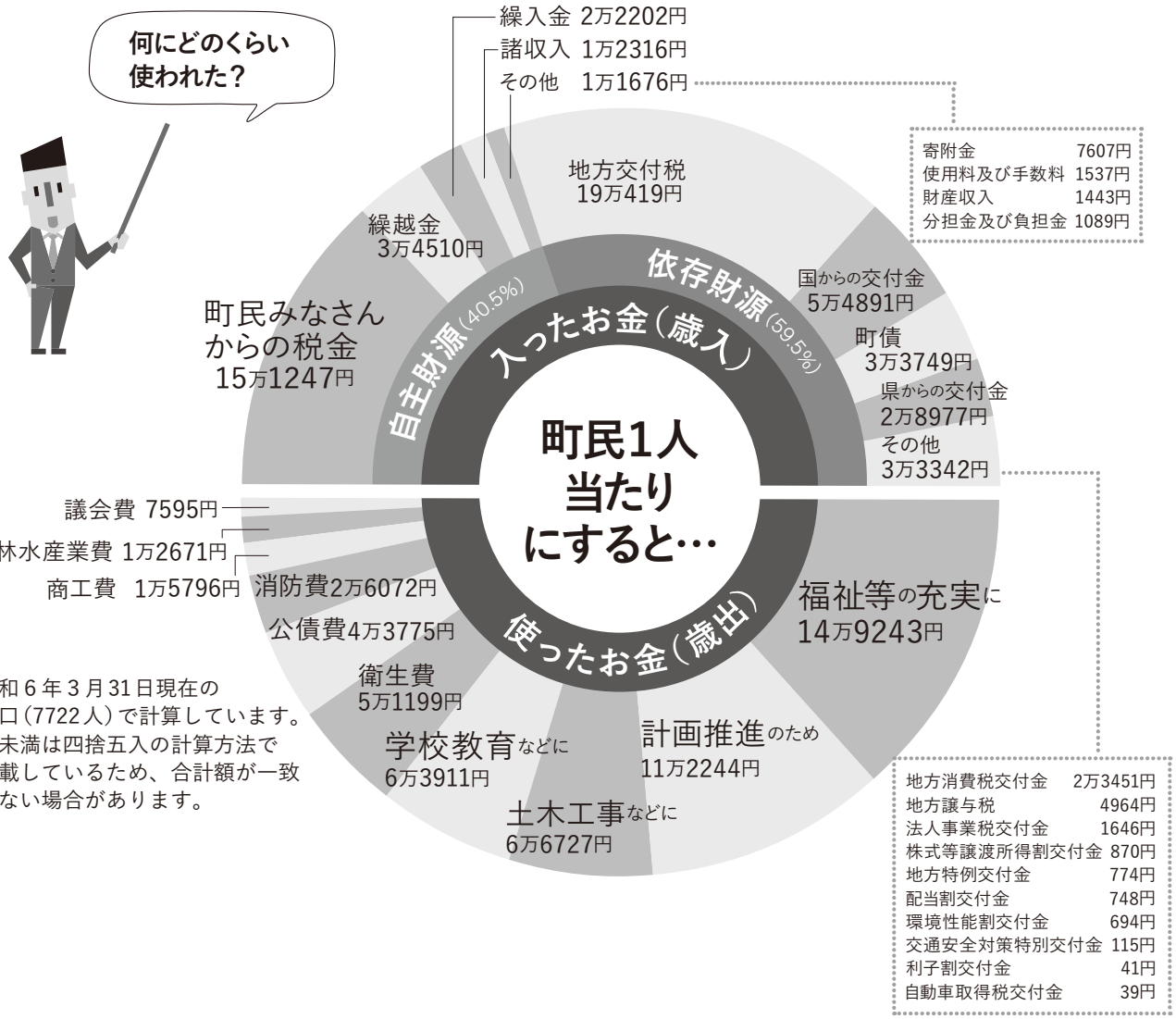
非常勤特別職

問 非常勤特別職の報酬は長年変わっていないが、見直しは検討しないのか。

答 今後、様々な情報を入れて検討していかなければという問題意識を持っている。

特別交付税

問 特別交付税の項目では地域おこし協力隊等に約50%が充てられているが、特別交付税は自治体当たりの総枠が決まっています、他で削られている部分があるのではないかと。バランスが大切ではないか。



決算に対する討論

【賛成討論】宮原みさ子 議員

令和5年度は、カラフルタウンを目標として定めた第6次横瀬町総合振興計画前期基本計画の最終年度で、ようやくコロナ禍の影響を脱し、本来の施策が実施できる年度になった。

決算規模は、前年度と比較して減額となっている。町財政運営は、ますます厳しさを増しているが、限りある財源を効果的に活用し、町民一人一人のウェルビーイングを推進するために、今後の事業展開において、さらに適切かつ効率的な財政運営を期待して賛成する。

問 防災安全対策事業の工事内容は、5年に一度実施することが義務づけられている橋梁点検、人道橋の25橋の実施。他に芦ヶ久保橋の塗膜分析調査、上芦ヶ久保橋の防護柵設置工事、堂の下橋の長寿命化修繕工事。

答 総枠が決まっているかは検証がしにくくはつきり分らないが、積み上げてこの額になっていると考えている。バランスが大切ではあるが、有効に活用できていると考えている。



町内で活躍中の地域おこし協力隊

議会はココに注目!

令和6年度 補正予算主な質疑

町民会館改修工事

問 町民会館事務所改修工事に3000万円という多額の計上があるが、どのような改修をするのか。また、他の場所等の案はなかったのか。

答 今の事務室を、館内側及び館外側図書館への通路側へとそれぞれ拡大し、現在8名体制から20名体制にする予定。理由としては、教育委員会の管理体制として人的配置を合理的にすること、中心地になりつつある場所に常駐の職員を配置すること、感染症対策としてのスペース確保及び防災拠点の1つとして役場で何か災害等があったときの補助的な機能として、の3つがある。他の場所は考えなかった。

带状疱疹ワクチン

問 どのくらいの人数が申請をしているのか。増額費用は、今期のこの後にどのくらいの人数の追加があると見込んでいるのか。

答 交付申請の実績は、人数で言うと34名の方が申請をしている。回数的には57回分で、支出額は56万5000円になる。今回の補正であわせて83回分の補助を予定している。

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…^{じよせき}除斥 ※…議長

令和6年9月定例会 審議結果と議員の賛否を公開します		審議結果	森沢 望美	関 貴志	町田 多	向井 芳文	黒澤 克久	宮原 みさ子	新井 鼓次郎	内藤 純夫	若林 想一郎	関根 修	小泉 初男	若林 清平
請願	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」を国へ提出することを求める請願	不採択	×	×	○	×	×	×	※	○	×	○	×	○
報告	横瀬町の健全化判断比率及び横瀬町の公営企業における資金不足比率について	了承	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
条例改正	介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町行政組織条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
決算	令和5年度横瀬町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
補正予算	令和6年度横瀬町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	○	○
	令和6年度横瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
その他	横瀬町自治功労者の顕彰について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
人事	人権擁護委員候補者の推薦について(2件)	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○

● ※ … 議事進行を行う議長は賛否の表明はしません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否表明します(その場合「裁」と記載)。

委員会から報告します

請願のゆくえ

「現行の健康保険証の存続を求める意見書」を国へ提出することを求める 請願を審査

総務文教厚生常任委員会

請願者 秩父社会保障推進協議会 代表 千島正行

審査結果

6月定例会で総務文教厚生常任委員会に付託された本請願は、8月28日に開催された委員会において審査した結果「不採択とすべきもの」とされました。

9月定例会において委員長が委員会での審査結果を報告し、審議した結果、賛成少数により「不採択」となりました。



委員意見(抜粋)

肯定的な意見	否定的な意見	その他意見
<ul style="list-style-type: none">認知症の方や介護施設に入っている方等にはサポートが必要。スピード感が早く、不安にもつながる。	<ul style="list-style-type: none">薬や医療情報の共有、高額療養費等の手続きが円滑化され、利便性が向上する。無保険者や不法在留の外国人等の不正利用がなくなる。保険証の代わりとなるものも用意される。	<ul style="list-style-type: none">警察庁が銀行口座開設時などの本人確認書類として、保険証を利用できなくする報道があった。かかりつけ医でも保険証の移行をお知らせする張り紙があった。

道路事業における総合振興計画(前期基本計画)の達成状況

産業建設常任委員会

道路事業における第6次横瀬町総合振興計画(前期基本計画)の達成状況について、建設課長より説明を受けました。質疑では設計に関する基準や国や県からの補助金・補助率について等がありました。閉会后、町道3175号線の現地視察を行いました。



整備が進む町道 3175号線を現地視察

決算の認定と財産の取得等を可決

秩父広域市町村圏組合議会

7月22日の全員協議会では、諸報告を受け議会運営を検討しました。7月29日の定例会では、2名の一般質問のほか、決算の認定、条例の一部改正、補正予算や財産の取得(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)等の審議を行いました。



社会体育施設の充実を！

向井芳文 議員

(教育次長) 様々な観点から総合的に検討していく

問 人工芝グラウンドについて、張り替えの時期がどのような状況か。また、それに伴い照明の照度の再検討及び近隣住民との協議や、斜面への観客席の設置はいかがか。

答 教育次長 様々な補助金を探しているが、独立行政法人日本スポーツ振興センター以外は見つからない。また、張り替えの実施自体も決まっていない。照度は、双方の理解が得られているのでそのまま利用している。観客席は今後、人工芝の張

り替えを検討していく中で、検討課題としていくのは可能である。

その他

「避難所としての観点を踏まえてのスポーツ交流館及び中学校体育館へのエアコン設置」
「各社会体育施設のオンライン予約及びオンライン決済並びにスマートキーの導入」
「テニスコート（オムニコート）の新設」
「小中学校プールの一般開放」について質問

竣工10年目の人工芝グラウンド



ジビエ肉を用いた食育

黒澤克久 議員

(教育次長) イベント的な運用を考慮

問 学校給食に年1～2回程度ジビエ肉を食材として組み入れることができるか。

答 教育次長 学校給食の食材等の基準は、学校給食法第9条第1項に基づき、「学校給食衛生管理基準」が定められている。

地元産ジビエ肉のため、保健所等からの情報提供をいただき、地域における感染症や放射能の汚染状況、食中毒の発生状況等も考慮事項となる。また、現場ではジビエ肉の安定供給（現在570食

前後になる。）や、児童生徒と保護者がジビエ肉を給食で食することの意識調査等を、事前に調査することが必要かと思う。

学校給食となると規制項目が非常に多くなるが、これらをクリアできるのであれば、食育のイベント的な運用も考慮できると考えている。

鹿肉を使ったコロッケ



どこまでできるか

宮原みさ子 議員

(町長) しっかりと啓発活動していく

問 自動ブレーキ搭載車の購入補助金は。

答 総務課長 現時点では町独自のサポカー補助金の交付予定はなく、高齢者の交通安全対策として、運転免許証の自主返納者に公共交通機関利用券配布を実施している。運転免許証を返納できない高齢者が多いこともあり、今後の政府の動向や近隣自治体の状況を確認しながら、調査研究を進めていく。

問 認知症ケアとしてのユマニチュードの普及と推進は。

答 福祉介護課担当課長 既存事業の中でユマニチュードの4つの技法を意識した具体的な支援内容を盛り込み、引き続き認知症の理解啓発を実践していく。

問 RSワクチン接種の公費助成は。

答 健康子育て課長 RSウイルスワクチンは任意接種となり、現在、国で定期接種化について課題や科学的観点などの検討が始まっている。今後、国の動向に注視しながら、町の対応方針について検討していく。

踏み間違い時の急発進抑制などをサポート



ユマニチュード…フランス語で「人間らしさを取り戻す」という意味の造語で、認知症の方へのケア技法です。

サ
ー
と
チ
ば

本会議は原則公開、どなたでも傍聴できます。事前予約は不要です。役場3階にお越しください！



横瀬町の10年後が心配

若林想一郎 議員

(町長) 危機感を持って粘り強く取り組む

問 人口減少対策は喫緊の課題。当町は、本年4月の人口戦略会議の結果で残念ながら消滅可能性自治体だった。県内で消滅可能性自治体から脱却した自治体もあり（全国で239市町村）、新たな取組が必要ではないか。町の目指す地域づくりの方向と具体策は。

答 町長 このままではいけないという観点から、消滅可能性を前提とした施策を積み上げてきた。今後も危機感を持って粘り強く取り組んでいく。

問 ふるさと納税の寄附額が5000万円程度減少している原因は。今後の対応策として知恵を絞ることが必要ではないか。

答 まち経営課長 人気のある天然水などを返礼品とする寄附額の減少が一因。今後は返礼品の見直し、魅力のある返礼品の開発と併せて、これまでの寄附者との関わりを検討していく。

返礼品には体験型もあり



移住促進を進めるために

森沢望美 議員

(まち経営課長) オープンから5か月。順調なすべり出し

問 舎場（ヤドリバ）シンワの利用状況について。

答 まち経営課長 暮らし体験住宅「舎場（ヤドリバ）シンワ」の利用状況は5月中旬～7月中旬までJICA研修生が3名。7月中旬～現在まで地域おこし協力隊インターン1名が40日間。地域活性化起業人1名が30日間利用。のべ利用日数は253日間で稼働率は55.1%。

今後の利用予定は地域おこし協力隊インターン1名が90日間。施設案内の周知は十分と言えな

い状況であるため、ホームページやSNSなどを活用して、周知の方法や内容を充実させていきたいと考えている。現状の「舎場（ヤドリバ）シンワ」の稼働率を上げ、安定的に運営できるよう考えていく。

舎場（ヤドリバ）シンワの内観



放課後子ども教室 対象が1・2年生の理由は

関貴志 議員

(教育次長) 安全確保などの理由から小学校1・2年を優先的に決定

問 県の放課後子供教室推進事業の実施要綱では、子供の範囲を「児童、生徒の一部のみを対象とするものではない」とあるが、対象学年が1・2年生にしているのはなぜか。また、対象学年の見直しは行っていくのか。

答 教育次長 低学年は、学校生活に慣れない状況や、家庭の環境で児童が1人で待機しなければならないことへの安全確保などで、1年生を優先的に決定し、次に2年生となっている。定員に欠員

が生じれば、3年生も受け入れできる。お迎えの状況や指導員の確保の問題もあり、現在、対象学年の見直しは考えていない。

放課後子ども教室



決算認定を終えて

町民インタビュー

町に思うこと・期待すること

第6次横瀬町総合振興計画のもと、町長をはじめとした町職員と議員が一丸となって、安心して暮らせる居心地のよいまちにしてくださっていると思います。

今後も引き続き「人づくり」を中心に、町民の声を大切にしたいと思う「まちづくり」をしてほしいです。

町民の声を大切に！
逸見知子さん（中郷）



高齢者にも
分かりやすく！
木崎泰明さん（川西）

役場の1階フロアが木材で改修してあり、落ち着いた感じで住民の方も気軽に行きやすくなったと思います。移住の促進で外部の人材を活用して人口増を考えていることはよいことだと思いますが、協力隊等の活動内容が不明な部分もあり、また、「ENgaWA」や「農協の跡地」など新しい施設の周知が住民に対して弱く、何をやっているか分からない部分もあります。子育て世代との顔の見える付き合いが減っており、壁があるように感じてしまうので、年齢問わずコミュニケーションがもっと取ればさらによくなると思います。また、横文字での政策が多いので、高齢者にも分かりやすくしてほしいです。



役場の1階フロアが木材で改修してあり、落ち着いた感じで住民の方も気軽に行きやすくなったと思います。移住の促進で外部の人材を活用して人口増を考えていることはよいことだと思いますが、協力隊等の活動内容が不明な部分もあり、また、「ENgaWA」や「農協の跡地」など新しい施設の周知が住民に対して弱く、何をやっているか分からない部分もあります。子育て世代との顔の見える付き合いが減っており、壁があるように感じてしまうので、年齢問わずコミュニケーションがもっと取ればさらによくなると思います。また、横文字での政策が多いので、高齢者にも分かりやすくしてほしいです。



インタビューの様子

町村議会広報研修会

読んでもらえる「よこぜ議会ナビ」へ

【日時】9月25日(水)

【場所】東京都港区 ニッショーホール

町村議会広報研修会が行われました。読まれる議会広報紙の記事の作り方やデザインのNG事例等、各講師から講演をいただきました。また、議会広報の作成に当たって、簡潔なタイトル・強いキャッチコピー・質の高いイメージ画像の大切さといった、実践的なポイントも盛り込まれていました。学んだことを生かし、より魅力ある「議会ナビ」を作成していきたいです。



秩父町村議員クラブ総会

今後の活動に向け当町議員が活発な質疑

【日時】7月25日(木)

【場所】長瀬町長生館

長瀬町で町村議員クラブの総会が行われました。質疑ではクラブの今後の運営方針や、コロナ禍前から行われていた方法の変革等が出ました。今後も近隣町村との親睦を深めながら、秩父町村議員クラブの維持・改善につなげていきたいです。



要望活動

地方が抱える課題解決に向けて

【日時】7月31日(水)

【場所】法務省

法務省にて小泉龍司法務大臣（当時）を訪問しました。横瀬小学校の建設に伴うお礼と、横瀬町や秩父地域等の地方が抱える課題解決に向けての要望活動を行いました。要望活動後は、法務省日本館（赤れんが棟）の資料室等を見学しました。



よこぜ議会ナビ

No.144

2024年秋号（令和6年9月定例会）

発行：埼玉県横瀬町議会

〒368-0072

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 4545 番地

tel.0494-25-0119 fax.0494-23-9349

発行責任者：議長 新井鼓次郎

編集：広報常任委員会

委員長…宮原みさ子 副委員長…向井芳文

委員…黒澤克久・町田 多・関 貴志

森沢望美

次の定例会は

12月中旬 開会予定

本会議は
どなたでも
傍聴できます♪



詳細は横瀬町議会ホームページをご覧ください
議会事務局 TEL 25-0119 にお問合せください

